

## 事務事業評価調書

事務事業名	こども110番見まもり活動支援事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	19	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	こども110番見まもり活動支援事業実施要領							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 6	安全で魅力的なまちづくり	節 1	細節 20				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	各小学校区で組織されている見まもり隊						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	登下校時の子どもの安全を確保する						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	すべての子どもが健やかに育つまちの実現を図る							
(7)	事業概要	登下校時の子どもの安全を確保するために結成された「見まもり隊」に対し、市立全小学校区に見まもり安全活動に必要な消耗品(ナイロンジャンパー、メッシュベスト、キャップ、ビニール腕章、三色手旗)を支給する。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款 10	項 5	目 1	大事業 3	中事業 1	小事業 1	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		693	631	642	489	913	
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
			総額(B)	千円	4,150	3,974	4,176	4,176	4,085
		総事業費(A+B)		4,843	4,605	4,818	4,665	4,998	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		4,843	4,605	4,818	4,665	4,998	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
その他	0		0	0	0	0			
一般財源	4,843		4,605	4,818	4,665	4,998			
財源計(C+D)		4,843	4,605	4,818	4,665	4,998			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 見まもり活動を実施している小学校区	目標値	(単位:校)	35.00	36.00	36.00	
			実績値	(単位:校)	35.00	36.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	市内小学校の総数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		131.57	129.58	
				一般財源(単位:千円)		131.57	129.58	
	②	指標内容 見まもり活動に係る消耗品支給小学校区	目標値	(単位:校)	35.00	36.00	36.00	
			実績値	(単位:校)	34.00	31.00		
			達成度(%)		97.1	86.1		
目標値の積算方法		市内小学校の総数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		135.44	150.48	
				一般財源(単位:千円)		135.44	150.48	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	前年度比における通学路の見まもりに携わるボランティアの数及び保護事例			達成状況	【ボランティア数】H26年度 約8,400人、H27年度 約9,100名【保護事例】H26年度 2件、H27年度 3件	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		見まもり活動に係る消耗品を各小学校区17,000円以内で支給することにより、少ない経費で子どもの安全確保に寄与していると考え。平成26年度(2014年度)からは、道路公園部が配布していた児童愛護旗を本事業で配布することにより、消耗品配布の窓口を一本化し、見まもり活動を行うボランティアの利便性に配慮している。各組織からも一定の評価を得ており、今後も事業の継続が必要である。					

# 事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	こども110番見まもり活動支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00934				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>94</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	まなびの支援課	事務事業番号	00934
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市内全小学校を対象としており公平性は確保されている。また、1校あたり20,000円程度の現物支給と言うことで、経費的には持続可能だが、見まもりをするボランティアの高齢化が進んでいる地域もあり、ボランティア確保の点で課題がある。また、通学途中における子どもたちの安全を人の目により確保することで妥当性・有効性も一定確保されていると考えられるが、多くのマンパワーを要する点で効率性に課題が残る。それでも住民自身がボランティアで毎朝毎夕通学路に立つ姿を子どもたちに見せること自体に教育的意義があると考ええる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成17年度の制度発足時のみ大阪府から補助金(1校あたり50,000円)が支給されたが、以後は国・府ともに補助制度はなし。  
 他市の状況としては、  
 豊中市では、旗を購入し、小学校を通じて、毎年ボランティアに配布(各校40~50本)。池田市では、学校に任せており支給品は無し。箕面市では、中学校の公用車が「青色防犯パトロール」として巡回し、特に配布物はなし。茨木市では、小学校(32校)に交付金(3万円)支給している。学校で異なるが、ジャンパー・帽子など消耗品を購入。高槻市では、セーフティボランティアとして、小学校(41校)で登録している。消耗品費(ベスト・帽子)を購入し配布。摂津市では、啓発用品の配布はしていないが、新一年生の保護者に自転車の前かごカバーを配布。

## 事務事業評価調書

事務事業名	地区公民館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和36年	改正内容	吹田市公民館条例について、千一地区公民館及び吹二地区公民館の位置表示の変更											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	社会教育法 吹田市公民館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	一定区域の市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域での多様な学習・文化活動に応えることのできる地区公民館諸施設の充実												
(7) 事業概要	市民に地区公民館(29館及び1分館)を身近な生涯学習の場として安全・快適に利用してもらえるよう、施設の維持管理を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	4	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		164,865	163,536	166,393	161,068	225,117							
	人件費	職員数	人	1.60	2.30	2.30	2.30							
		総額(B)	千円	13,280	18,279	19,210	19,210							
	総事業費(A+B)		178,145	181,815	185,603	180,278	243,908							
	特定財源(C)		848	1,202	1,958	906	1,397							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	848	1,202	1,958	906	1,397							
	市負担(D)		177,297	180,612	183,645	179,372	242,511							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		177,297	180,612	183,645	179,372	242,511								
財源計(C+D)		178,145	181,814	185,603	180,278	243,908								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	地元連合自治会										
			②											
			③											
	主な委託内容		地区公民館管理業務(公民館受付業務等)											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	開館日数	目標値	(単位:日数)	294.00	294.00	294.00
			実績値	(単位:日数)	288.00	290.00	/	
		達成度(%)		98.0	98.6			
	目標値の積算方法	年間所定開館日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	631.30	621.65		
				一般財源(単位:千円)	627.13	618.52		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	地区公民館利用者数(主催講座参加者を除く)	目標値	(単位:人)	438,060.00	438,060.00
	実績値			(単位:人)	333,553.00	370,776.00	/	
	達成度(%)		76.1	84.6				
	目標値の積算方法	室数(平成25年より149室)×2(午前・午後)×開館日数×0.5(主催講座以外の時間帯)×1室あたりの利用者10人	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.55	0.49		
				一般財源(単位:千円)	0.54	0.48		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	地域住民のための公民館の維持管理及び老朽化の進行が予想される施設(平成26年度老朽化率48.6%)の整備・充実は、生涯学習社会の形成に欠かせない事業である。費用対効果の面から見ると、地区公民館の管理業務の一部を各地域の連合自治会等に委託し、施設の維持補修や経理事務等は生涯学習課が集中・一括して行うことで、最小の経費で地域における身近な生涯学習施設である地区公民館の機能維持と施設管理ができていものと考えている。						

## 事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	地区公民館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00935				

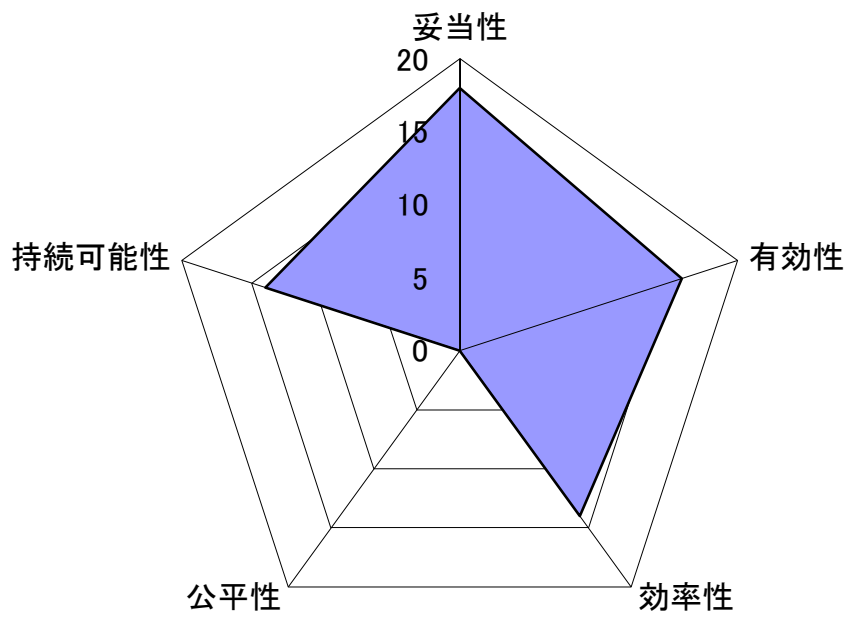
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	まなびの支援課	事務事業番号	00935
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域住民のための公民館の維持管理及び老朽化の進行が予想される施設(平成26年度老朽化率48.6%)の整備・充実、生涯学習社会の形成に欠かせない事業である。費用対効果の面から見ると、地区公民館の管理業務の一部を各地域の連合自治会等に委託し、施設の維持補修や経理事務等は生涯学習課が集中・一括して行うことで、最小の経費で地域における身近な生涯学習施設である地区公民館の機能維持と施設管理ができていものと考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

吹田市を除く北摂6市については、公民館の管理運営について市が直営で管理をしており、吹田市のように地元の連合自治会等に管理を委託している例がないため、比較対象がないが、地域の連合自治会に低コストで公民館の管理業務の委託業務の遂行が可能であるため、今後も継続する予定である。



## 事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	吹田市公民館条例について、千一区公民館及び吹二区公民館の位置表示の変更											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	社会教育法 吹田市公民館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	南千里地区公民館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持 地域市民の生活文化の向上、社会福祉の増進、及び市民の生涯学習活動の支援												
(7) 事業概要	南千里地区公民館の施設の維持と市民に身近な生涯学習の場として安全・快適に利用してもらえるよう、適切な施設の管理運営を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	4	大事業	1	中事業	1	小事業	2
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		43,260	43,116	43,488	42,964	44,065							
	人件費	職員数	人	0.20	0.30	0.30	0.30							
		総額(B)	千円	1,660	2,385	2,506	2,506							
	総事業費(A+B)		44,920	45,501	45,994	45,470	46,516							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		44,920	45,500	45,994	45,470							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		44,920	45,500	45,994	45,470	46,516								
財源計(C+D)		44,920	45,500	45,994	45,470	46,516								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	平成43年まで、建設・設計、施設維持管理、長期修繕業務については吹田南千里PFI株式会社が行う。												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	開館日数	目標値	(単位:日数)	294.00	294.00	294.00
			実績値	(単位:日数)	288.00	290.00	/	
		達成度(%)		98.0	98.6			
	目標値の積算方法	年間所定開館日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	157.99	156.79		
				一般財源(単位:千円)	157.99	156.79		
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) 困難な場合		①	指標内容	地区公民館利用者数(主催講座参加者を除く)	目標値	(単位:人)	26,460.00	26,460.00
	実績値			(単位:人)	28,123.00	29,324.00	/	
	達成度(%)		106.3	110.8				
	目標値の積算方法	室数(9室)×2(午前・午後)×開館日数×0.5(主催講座以外の時間帯)×1室あたりの利用者を10人とする	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.62	1.55		
				一般財源(単位:千円)	1.62	1.55		
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		南千里地区公民館が千里ニュータウンプラザの一部を占有する限りにおいて、継続して費用を支出する必要があり、平成43年まで事業は継続する予定である。					

## 事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00936				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	まなびの支援課	事務事業番号	00936
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>南千里地区公民館が千里ニュータウンプラザの一部を占有していることから、同プラザの建設費・施設管理委託料、光熱水費を分担して支出している。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

この事業については、PFI事業のため、他市との比較が困難であるが、南千里地区公民館はニュータウンプラザに移設し、利用者が増大した。施設管理経費についてはPFI事業のため一定している。サービスの水準についても一定に保たれ、利用者は快適に利用できる。

## 事務事業評価調書

事務事業名	地区公民館事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和36年度	改正内容	吹田市公民館条例について、吹二地区公民館及び千一地区公民館の位置表示の変更											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	社会教育法、吹田市公民館条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	一般市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地域の特色を活かした各種講座の開設により、地域住民に身近に学習機会を提供し、生涯学習の支援を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	生涯学習社会の形成を図る。													
(7)	事業概要	趣味や教養、現代的課題など、生活に即した講座を通じて地域住民の生涯学習活動の支援を図る。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	4	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		15,016	12,685	15,849	13,575	14,383							
		人件費	職員数	人	0.76	0.76	0.76	0.76							
			総額(B)	千円	6,308	6,040	6,348	6,348							
		総事業費(A+B)		21,324	18,725	22,197	19,923	20,593							
		特定財源(C)		102	175	1,140	1,140	843							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	102	175	1,140	1,140	843							
		市負担(D)		21,222	18,550	21,057	18,783	19,750							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	21,222		18,550	21,057	18,783	19,750									
財源計(C+D)		21,324	18,725	22,197	19,923	20,593									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	管理運営のみ連合自治会へ委託													



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 地区公民館主催講座の延べ開催件数	目標値	(単位:件)	2,842.00	2,842.00	2,842.00
			実績値	(単位:件)	1,868.00	1,853.00	
		達成度(%)		65.7	65.2		
	目標値の積算方法 294日(年間開館日数)÷3(3日に1度開催するとして)×29館	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	10.02	10.75		
			一般財源(単位:千円)	9.97	10.14		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 地区公民館主催講座の延べ受講者数	目標値	(単位:人)	56,840.00	56,840.00	56,840.00
			実績値	(単位:人)	50,622.00	49,437.00	
		達成度(%)		89.1	87.0		
	目標値の積算方法 2842件(主催講座目標数)×20人(1講座定員20人として)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.37	0.40		
			一般財源(単位:千円)	0.37	0.38		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地域に根ざし、地域に最も近い歩いて行ける場所で生涯学習社会の形成を担っている事業である。各地区公民館では主催講座を実施し、学習内容については現代的課題や地域住民のニーズに対応して企画されており、受講者から高い評価を得ている。また、グループ活動を通じて地域住民の交流や地域コミュニティの醸成にも寄与している。				

## 事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	地区公民館事業	事業区分	その他
事務事業番号	00937				

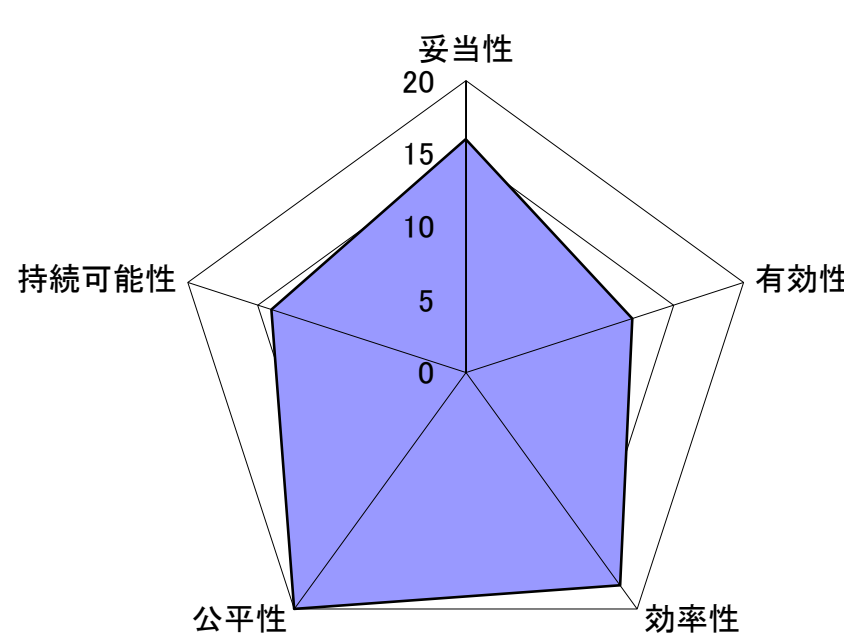
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>80</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	まなびの支援課	事務事業番号	00937
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地区公民館事業については、「歩いて行ける身近な学びの場」としての利点を活かし、魅力的な講座を企画して、市民に学びをとおして心豊かな生活をおくってもらうことが重要である。講座も趣味・教養に偏ることなく現代的な課題や地域の問題に対応した講座を企画していくとともに、部内に専門知識をもった職員が多くいる利点を生かし、引き続き連携して高齢者ストレッチや図書、地域の歴史を提供し、「専門施設に行かなくても近くでさまざまなことが学べる」地区公民館づくりをさらに推進する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

小学校区ごとに公民館を設置している市町村は少ない。地域住民が企画運営委員となって、事業の企画や運営を行うことにより、地域の課題やニーズを取り入れた内容となっている。他の自治体の公民館講座は趣味や教養が大きな割合を占めているのに対し、吹田市の各地区公民館は健康づくりや高齢化など、現代的課題に向き合った講座を多く開催している。

## 事務事業評価調書

事務事業名	地区公民館文化祭事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	36	改正内容	吹田市公民館条例について、吹二地区公民館及び千一地区公民館の位置表示の変更											
(2) 直近の改正	25													
(3) 根拠法令等	社会教育法、吹田市公民館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	地区住民を含む市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	生涯学習社会の形成を図る。												
(7) 事業概要	講座や同好会等による作品展示や演芸発表など日頃の公民館活動の成果を発表し、地区住民との連携を図る。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	4	大事業	2	中事業	1	小事業	2
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		7,055	7,178	7,336	7,306	7,353							
	人件費	職員数	人	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04						
		総額(B)	千円	332	318	335	335	327						
	総事業費(A+B)		7,387	7,496	7,671	7,641	7,680							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		7,387	7,496	7,671	7,641	7,680							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		7,387	7,496	7,671	7,641	7,680								
財源計(C+D)		7,387	7,496	7,671	7,641	7,680								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	地区公民館文化祭実行委員会											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	地区公民館文化祭作品等出品点数	目標値	(単位:件)	16,000.00	16,000.00	16,000.00
			実績値	(単位:件)	14,439.00	13,908.00		
		達成度(%)				90.2	86.9	
	目標値の積算方法	過去5年間の地区公民館文化祭作品等出品点数実績で、最多であった年の出品点数の近似値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.52	0.55	
				一般財源(単位:千円)		0.52	0.55	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容	地区公民館文化祭参加者数	目標値	(単位:人)	43,000.00	43,000.00	43,000.00
			実績値	(単位:人)	40,361.00	40,403.00		
		達成度(%)				93.9	94.0	
	目標値の積算方法	過去10年間の地区公民館文化祭参加者数実績で、最多であった年の参加者数の近似値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.19	0.19	
				一般財源(単位:千円)		0.19	0.19	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		地区公民館文化祭には、毎年多くの市民が参加しており、公民館の存在や活動を市民にPRする場としての効果は大きく、本市の生涯学習の推進に寄与している。					



## 事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	地区公民館文化祭事業	事業区分	その他
事務事業番号	00938				

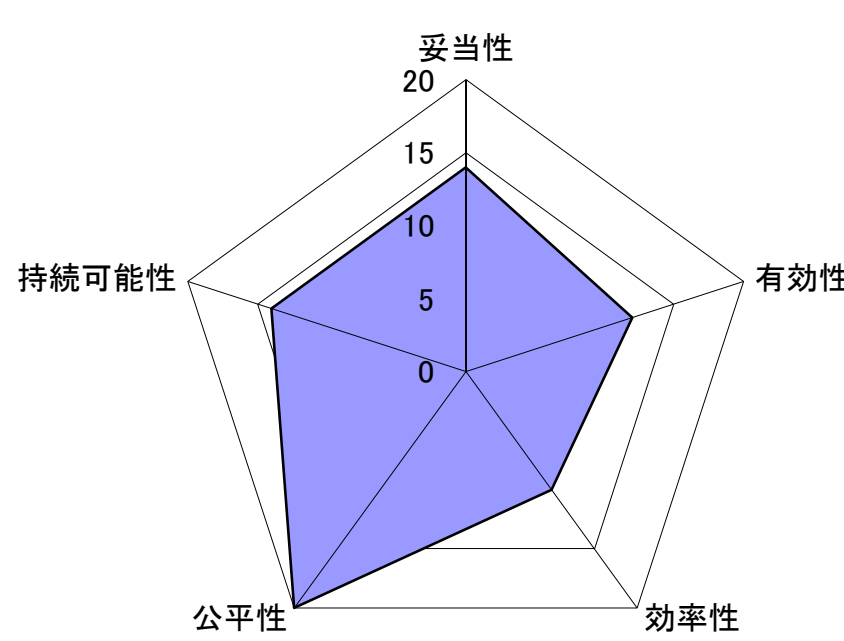
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	まなびの支援課	事務事業番号	00938
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>地区公民館文化祭は、公民館における生涯学習活動の成果を発表する場であり、全体で4万人を超える参加者を誇るとともに、地域の交流や人の輪(和)を育む大切な場となっている。講座や同好会等の作品展示や演芸発表を通して地域の文化振興と、市民の生涯学習への意欲の高揚に貢献するとともに、地区公民館の講座などの事業を知ってもらう貴重な機会となっている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

他の市町村の公民館では、文化祭を実施していないところもある。しかし、吹田市においては、原則として各小学校区ごと、すなわち「歩いて行ける身近な」場所に地区公民館が設置されている利点を活かし、すべての地区公民館で文化祭を実施している。地域住民が実行委員会を構成し、実施主体となっているため、市民との協働による生涯学習の推進に寄与している。

## 事務事業評価調書

事務事業名	生涯学習推進本部事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成18年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	社会教育法、第2次生涯学習推進計画						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 2	細節 10			
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	講座やイベントなどの学習情報や活動の場となる施設の情報、指導者の情報、一緒に活動できる仲間の情報、団体の活動状況の広報等を求めている市民					
		目標(どういう状態にしたいのか)	講座やイベントなどの学習情報や活動の場となる施設の情報、指導者の情報や一緒に活動できる仲間の情報や団体の活動状況の広報をすることにより、「いつでも・どこでも・だれでも」学習できる環境を整える。					
	結果(どのような効果が得られるのか)	市民の学習ニーズの多様化・専門化に応える事により、個人が生きがいや充実した生活を実現し、学んだ人が学習の受け手にとどまることなく創り手としてその成果を社会に発信することにより生涯学習社会の形成を図る。						
(7)	事業概要	平成18年3月に策定された第2次吹田市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習推進のための調査・研究を行い、学習情報を収集し、発信する。具体的には、職員派遣講座「出前講座」、学習活動の場の情報誌「ひろがれ」、生涯学習人材バンク登録者名簿「ひとの宝箱」、生涯学習活動団体情報「さーくるネット吹田」について冊子の発行とインターネットで市民に情報を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。なお、平成27度末を目途に庁内及び市民との協働により、第3次吹田市生涯学習推進計画を策定する。						
(8)	H27事業別予算コード	会計 1	款 10	項 5	目 11	大事業 1	中事業 1	小事業 1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		3,058	2,652	2,586	2,294	2,827
		人件費	職員数 人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
			総額(B) 千円	4,980	4,769	5,012	5,012	4,902
		総事業費(A+B)		8,038	7,421	7,598	7,306	7,729
		特定財源(C)		7	8	8	0	8
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	7	8	8	0	8
		市負担(D)		8,031	7,412	7,590	7,306	7,721
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他	0		0	0	0	0		
一般財源	8,031		7,412	7,590	7,306	7,721		
財源計(C+D)		8,038	7,420	7,598	7,306	7,729		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 出前講座の開催回数	目標値	(単位:回)	36.00	36.00	/
			実績値	(単位:回)	55.00	59.00	
			達成度(%)		152.8	163.9	
	目標値の積算方法 出前講座を月3回実施した場合の年間の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	134.93	123.83		
			一般財源(単位:千円)	134.93	123.83		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 出前講座の受講者数	目標値	(単位:人)	1,080.00	1,080.00	/
			実績値	(単位:人)	1,199.00	1,849.00	
			達成度(%)		111.0	171.2	
	目標値の積算方法 出前講座を月3回(1回あたり30人受講)実施した場合の年間の受講者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6.19	3.95		
			一般財源(単位:千円)	6.19	3.95		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>生涯学習情報のニーズは高く、各種の生涯学習情報誌の発行状況においては、次回発行時にはほぼ在庫がなくなる状況となっている。インターネットでの情報提供も行っているが、インターネットのみでは情報格差が広がる懸念があり、また、生涯学習情報を集約した手軽に持ち歩ける紙媒体での情報についても、必要不可欠なものと考えられる。ホームページや冊子の内容の充実を図ることで、さらに生涯学習情報の発信を充実させていく。</p> <p>第3次吹田市生涯学習(楽習)推進計画の策定については、生涯学習推進本部会議や幹事会議を開催し、吹田市生涯学習推進専門研究員の助言を受けながら、全庁的に生涯学習施策についての議論を重ねた。また、社会教育委員会において市民意見も聞きながら、平成27年度末の策定に向け検討をしているところである。</p>				

# 事務事業分析シート

所属名	生涯学習課	事業名	生涯学習推進本部事業	事業区分	その他
事務事業番号	939				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

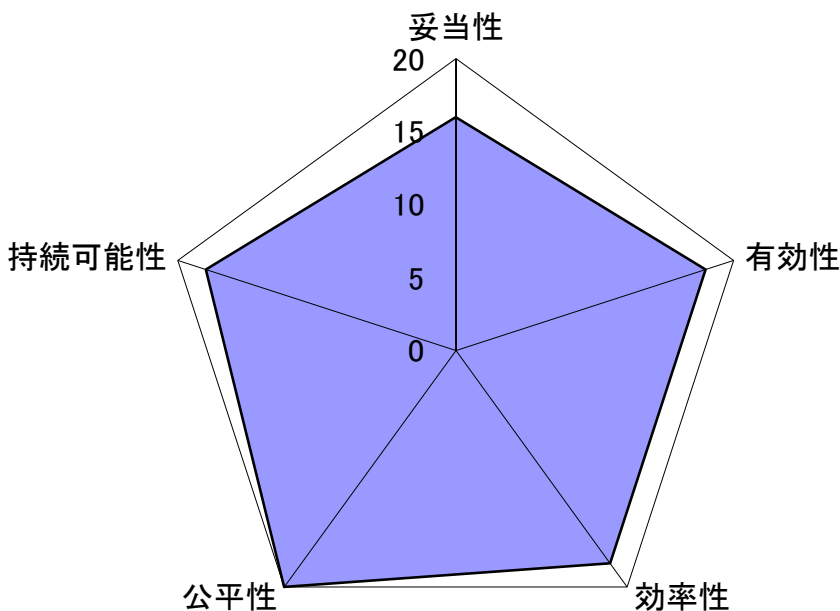
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		



所属名	生涯学習課	事務事業番号	939
-----	-------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>第3次吹田市生涯学習(楽習)推進計画の策定が進んだことにより、前年度課題となっていた有効性について改善が図れたと考えている。妥当性については社会状況の変化等に対応できるよう、市民のニーズに応えた事業を実施し、市民の生涯学習に資する情報を提供していく必要がある。効率性については、各施設や部署の生涯学習にかかる意識を啓発し、既存の事業と連携する形で事業効率の向上について検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

生涯学習推進計画を策定している自治体もあるが、現代的課題の学習の推進による複雑化した時代を生き抜く力の育成、スポーツを取り入れた学習の推進による健やかな心身づくりなどが特徴的な点となっている。なお、大阪府は計画策定を取りやめている。  
市内に多くの大学や研究機関がある利点を活かして連携し、市の各所管のみならず各大学や研究機関の市民向け事業の情報も発信し、市民が生涯学習を行う際の情報提供に努めている。

## 事務事業評価調書

事務事業名	生涯学習吹田市民大学事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成20年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	社会教育法、第2次生涯学習推進計画、生涯学習吹田市民大学設置要領						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 2	細節 10			
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	市民					
		目標(どういう状態にしたいのか)	生涯学習吹田市民大学講座を実施することにより、生涯学習に対する市民の意欲を引き出し、「いつでも・どこでも・だれでも」学べる環境を整備する。					
	結果(どのような効果が得られるのか)	生涯学習市民大学講座を実施することにより、年齢を問わず市民の生涯学習活動を支援するにより、市民の生涯学習活動を支援する。						
(7)	事業概要	<p>生涯学習吹田市民大学は、学びを通じて様々な生涯学習活動の契機となり、人生をより豊かにするための教養を深める学びの場として、第2次吹田市生涯学習推進計画に基づき、平成20年に開設された。「特別講座」と「大学連携講座」により構成されている。「特別講座」は、社会情勢や現代的課題を学ぶ社会教育の場として開催する。「大学連携講座」は、関西大学・千里金蘭大学・大阪学院大学の3大学と連携し、それぞれの大学の長をを活かした講座を企画し、実施をする。</p>						
(8)	H27事業別予算コード	会計 1	款 10	項 5	目 11	大事業 1	中事業 2	小事業 1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		2,387	1,200	2,285	1,379	1,897
		人件費	職員数 人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
			総額(B) 千円	3,320	3,179	3,341	3,341	3,268
		総事業費(A+B)		5,707	4,379	5,626	4,720	5,165
		特定財源(C)		180	12	0	0	0
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	180	12	0	0	0
		市負担(D)		5,527	4,367	5,626	4,720	5,165
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,527		4,367	5,626	4,720	5,165		
財源計(C+D)		5,707	4,379	5,626	4,720	5,165		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容 生涯学習吹田市民大学特別講座の開催回数	目標値	(単位:回)	9.00	9.00	/	
			実績値	(単位:回)	10.00	9.00		
			達成度(%)		111.1	100.0		
	目標値の積算方法 生涯学習吹田市民大学特別講座を地区公民館で3館実施するものとし、1コースが3回連続講座で実施した場合の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	437.90	524.44			
			一般財源(単位:千円)	437.90	524.44			
	②	指標内容 生涯学習吹田市民大学大学連携講座の開催回数	目標値	(単位:回)	15.00	15.00		/
実績値			(単位:回)	18.00	18.00			
達成度(%)			120.0	120.0				
目標値の積算方法 生涯学習吹田市民大学大学連携講座を3大学で実施するものとし、各大学5回講座を実施した場合の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	243.28	262.22				
		一般財源(単位:千円)	243.28	262.22				
(2) 成果指標	①	指標内容 生涯学習吹田市民大学特別講座の延受講者数	目標値	(単位:人)	270.00	270.00	/	
			実績値	(単位:人)	163.00	264.00		
			達成度(%)		60.4	97.8		
	目標値の積算方法 生涯学習吹田市民大学特別講座を地区公民館で3館で3回連続講座で実施するものとし、定員30名が受講した場合の受講者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	26.87	17.88			
			一般財源(単位:千円)	26.87	17.88			
	②	指標内容 生涯学習吹田市民大学大学連携講座の延受講者数	目標値	(単位:人)	3,000.00	3,000.00		/
			実績値	(単位:人)	2,087.00	1,770.00		
			達成度(%)		69.6	59.0		
目標値の積算方法 生涯学習吹田市民大学大学講座を各大学で5回実施するものとし、定員200名が受講した場合の受講者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.10	2.67				
		一般財源(単位:千円)	2.10	2.67				
(3) が困難な場合	①	活動内容		目標				
	②	成果内容		達成状況				
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>生涯学習吹田市民大学は、市民が学びを通じて様々な生涯学習活動の契機となり、人生をより豊かにするための教養を深める「学びの場」となるよう今後も事業を継続する。</p> <p>「特別講座」については、現代的課題に関する内容について市民が気軽に学ぶことに重点を置き事業を展開する必要がある。今後の事業展開にあたっては、地域の学びの場である地区公民館において、地区公民館と共催で実施をすることで、「歩いて行ける」身近な場所で現代的課題について学ぶことのできる場所を提供していく。</p> <p>「大学連携講座」については、応募者数も多く、抽選となるコースも見られる。受講者アンケートの結果より、「大学のキャンパスで勉強できることが貴重だった」「専門的な話を聞けてとても勉強になった」といった感想がほとんどであり、受講生の反応も好評である。今後も、男女共同参画の視点を持ちながら、各大学の特長を生かした講座を企画できるよう、主体的に取り組んでいく。</p>					

事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	生涯学習吹田市民大学事業	事業区分	その他
事務事業番号	940				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		⑤持続可能性 (20点)	18		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点	
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点			
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	まなびの支援課	事務事業番号	940
-----	---------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公平性・有効性については適正である。持続可能性については、専門知識をもった職員を活用するなど、事業費の抑制を図ることにより改善することができた。効率性については、各大学が独自に実施している市民向け公開講座との関係性を整理し、事業の内容を見直す等、事業効率の向上に向けた検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大学との連携講座は、他の市町村と比較して市内に大学が多くある利点を活かし、各大学の学部や教員の特色が出るとともに、専攻の教員による現代的課題を扱った講座が展開できている。特別講座においては、他の市町村では趣味や教養に偏りがちであるが、高齢化防災、健康づくりといった現代的課題を扱った講座を展開できている。

## 事務事業評価調書

事務事業名	生涯学習講座等事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	平成24年4月1日付けの組織改正により、中央公民館が生涯学習課に統合され、中央公民館事業の見直しを行い、生涯学習講座等事業を実施											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	社会教育法													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	「いつでも・どこでも・だれでも」学ぶことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を図る。												
(7) 事業概要	<p>社会教育法第3条及び第5条に基づき、教育委員会の事務として掲げられている「家庭教育に関する学習の機会を提供するための講座の開設」「家庭教育に関する情報の提供」として家庭教育学級の開設、子育て教室を実施をする。なお、「子育て教室」は保育付きで実施することで、就学前の子を持つ親が学習をする機会を提供する。「おやこであそぼ講座」は子どもへの生涯学習の場として学習の機会を提供する。</p> <p>また、障がいを持つ人が生活の向上に必要な知識を得るための学習の場の提供や、三島地区の市町村が連携して講座を企画することにより、市民により広範な講座内容を提供する。</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	11	大事業	1	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		9,268	7,937	6,319	5,799	8,306							
	人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.40	0.40							
		総額(B)	千円	3,320	3,179	3,341	3,268							
	総事業費(A+B)		12,588	11,116	9,660	9,140	11,574							
	特定財源(C)		30	27	18	0	27							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	30	27	18	0	27							
	市負担(D)		12,558	11,089	9,642	9,140	11,547							
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0								
	その他	0	0	0	0	0								
	一般財源	12,558	11,089	9,642	9,140	11,547								
財源計(C+D)		12,588	11,116	9,660	9,140	11,574								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	各家庭教育学級運営委員会										
			②											
			③											
	主な委託内容		家庭教育学級で開催する講座等の企画・運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													



## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 家庭教育学級の開設学級数	目標値	(単位:学級)	35.00	36.00	36.00	
			実績値	(単位:学級)	21.00	21.00		
			達成度(%)		60.0	58.3		
	目標値の積算方法	小学校区に1学級開設した場合の開設学級数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		529.33	435.24	
				一般財源(単位:千円)		529.33	435.24	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 家庭教育学級の延参加者数	目標値	(単位:人)	3,500.00	3,600.00	3,600.00	
			実績値	(単位:人)	4,835.00	4,914.00		
			達成度(%)		138.1	136.5		
	目標値の積算方法	小学校区に1学級開設した場合の全開設学級数×1学級あたり目標参加者数100人(年5回×20人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.30	1.86	
				一般財源(単位:千円)		2.30	1.86	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市民のさまざまな学習ニーズに応えるためテーマを幅広く取り上げる必要があり、また、社会教育施設として受講者の多少に関わらず取り組まねばならないテーマもあるため、受講者数だけの事業評価は困難である。講座内容の充実を図ったり、既存の方法を常に見直し、より効果的な事業内容を検討する必要がある。具体的には、子育て講座について、地域でより身近に学習できる環境づくりのため地区公民館と共催で実施をする等、地域の状況に応じた講座を展開していく必要があると考える。					

## 事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	生涯学習講座等事業	事業区分	その他
事務事業番号	941				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>82</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	まなびの支援課	事務事業番号	941
-----	---------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公平性についてはほぼ適正と言えるが、妥当性、有効性、効率性、持続可能性について改善の余地がある。妥当性については社会状況の変化等に対応した事業内容の見直しが必要である。有効性については、目標に対しても進捗状況が不十分であるため、さらなる検討が必要である。効率性については、社会教育施設等の施設を生かし、既存の事業と連携しながら実施する等の事業効率の向上について検討が必要である。持続可能性についても、事業内容の見直しや情報発信の充実などにより、さらに効果的な事業にできる余地があると考え。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

本事業の中には、障がいのある市民向けの講座が2講座あり(聴言障がい者教養講座、視覚障がい者活動講座)、いずれもおおむね月1回程度開催されており、他の市町村に比べて障がいのある人が学ぶ機会が多くなっている。

## 事務事業評価調書

事務事業名	地域交流室運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成10年度	改正内容	近隣公共施設の整備状況や桃山台小学校の児童数増加による学校教室の不足が見込まれる等の理由により、桃山台小学校地域交流室を平成25年3月末で廃止											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	社会教育法、第2次生涯学習推進計画、地域交流室等開放実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	生涯学習や地域活動を行う団体												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	山手小学校の教室を地域住民が利用できる地域交流室として開放し、生涯学習活動を支援する。												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の自主的学習、文化、交流活動が活性化し、学校・家庭・地域社会の連携に寄与することにより生涯学習社会の形成を図る。												
		山手小学校の教室を、地域住民が利用できる地域交流室として市民へ開放することにより、学習活動を支援する。(なお、近隣公共施設の整備状況により、桃山台小学校地域交流室は平成25年3月末で廃止)													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	11	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,990	1,744	2,003	1,782	1,835							
		人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
			総額(B)	千円	415	398	418	418	409						
		総事業費(A+B)		2,405	2,142	2,421	2,200	2,244							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		(内訳)	その他		0	0	0	0	0						
			市負担(D)		2,405	2,141	2,421	2,200	2,244						
			地方債		0	0	0	0	0						
(内訳)	その他		0	0	0	0	0								
	一般財源		2,405	2,141	2,421	2,200	2,244								
	財源計(C+D)		2,405	2,141	2,421	2,200	2,244								
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田シルバー人材センター										
				②	ホワイト建物(株)										
				③	ダイイチサービス有限公司										
		主な委託内容		受付等業務、清掃業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 地域交流室の利用件数	目標値	(単位:件)	300.00	300.00	300.00
			実績値	(単位:件)	429.00	512.00	
			達成度(%)		143.0	170.7	
	目標値の積算方法	毎月25件(休室日である水曜日以外毎日1件利用)地域交流室を利用する場合の年間利用件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.99	4.30	
				一般財源(単位:千円)	4.99	4.30	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 地域交流室の利用人数	目標値	(単位:人)	3,000.00	3,000.00	3,000.00
			実績値	(単位:人)	5,467.00	6,432.00	
			達成度(%)		182.2	214.4	
	目標値の積算方法	毎月250人(毎月25件、1件10人が利用した場合)が地域交流室を利用する場合の年間利用人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.39	0.34	
				一般財源(単位:千円)	0.39	0.34	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		利用者も地域交流室の趣旨を理解し、円滑に利用されており、市民の学習活動に役立っている。将来、地域交流室のある山手地区で地区公民館の狭隘が建替えにより解消され、地域住民の生涯学習の場が確保されるにいたった時には、当該事業を廃止する。				

## 事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	地域交流室運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	942				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>82</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		



所属名	まなびの支援課	事務事業番号	942
-----	---------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性、持続可能性について改善の余地がある。現状としては、利用者は地域交流室の趣旨を理解し、円滑に利用されているため、市民の学習活動に役立っていると言えるが、今後、近隣公共施設の整備状況により、事業内容を見直していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

実施している近隣市は、使用料を徴収しているが、本市では無料としており、上記の事情はあるが、市民の生涯学習の場の提供に寄与している。

## 事務事業評価調書

事務事業名	小・中学校教室開放事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成15年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	社会教育法、第2次生涯学習推進計画、吹田市立小・中学校教室開放の利用要領							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 2	細節 10				
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	校区内の公共的団体、社会教育団体及び学習・文化・コミュニティ等の団体						
		目標(どういう状態にしたいのか)	小・中学校の施設を有効活用し、地域の生涯学習の振興や教育コミュニティづくりを進める。						
	結果(どのような効果が得られるのか)	市民の自主的学習、文化、交流活動が活性化し、学校・家庭・地域社会の連携に寄与することにより生涯学習社会の形成を図る。							
(7)	事業概要	すべての市立小学校の多目的教室と一部の小学校の特別教室を学校教育に支障のない範囲で無料で開放し、地域の学習活動等の場として利用してもらうことにより地域の生涯学習の振興や教育コミュニティづくりを進める。							
(8)	H27事業別予算コード	会計 1	款 10	項 5	目 11	大事業 3	中事業 1	小事業 1	
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		19	9	19	9	19	
		人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
			総額(B)	千円	415	398	418	418	409
		総事業費(A+B)		434	407	437	427	428	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		434	406	437	427	428	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源	434		406	437	427	428			
財源計(C+D)		434	406	437	427	428			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 小・中学校教室開放事業の利用団体登録数	目標値	(単位:団体)	70.00	72.00	/
			実績値	(単位:団体)	52.00	53.00	
			達成度(%)		74.3	73.6	
	目標値の積算方法 市内小学校教室開放において各学校2団体の登録を目標とする	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	7.81	8.06		
			一般財源(単位:千円)	7.81	8.06		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 小・中学校教室開放事業の利用件数	目標値	(単位:件)	175.00	180.00	/
			実績値	(単位:件)	124.00	100.00	
			達成度(%)		70.9	55.6	
	目標値の積算方法 市内小学校教室開放において各学校5件の利用を目標とする	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.27	4.27		
			一般財源(単位:千円)	3.27	4.27		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		利用者も学校教育の趣旨を理解して、円滑に利用されており、市民の学習活動に役立っている。地域の団体の身近な学びや活動の場として小学校の多目的教室や特別教室を開放することで、市民の生涯学習の支援をすることは有意義であるため今後も継続する。				

## 事務事業分析シート

所属名	生涯学習課	事業名	小・中学校教室開放事業	事業区分	その他
事務事業番号	943				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>84</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	生涯学習課	事務事業番号	943
-----	-------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公平性については適正と言えるが、有効性について改善の余地がある。利用者は学校教育の趣旨を理解し、円滑に利用しており、市民の学習活動に役立っている。市報やホームページで周知を図ったが、今後も広報を推進していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

他の市町村においては、公民館の分館の事業実施場所として活用している事例があるが、すべての小学校の多目的教室を無料で生涯学習活動にかかる団体に開放し、生涯学習活動の場として提供している取組は近隣市では本市のみである(有料で開放している自治体あり)。

## 事務事業評価調書

事務事業名	地区公民館耐震化事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	19	改正 内容	吹田市公民館条例について、吹二地区公民館及び千一地区公民館の位置表示の変更											
(2) 直近の改正	25													
(3) 根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づく、市有建築物の耐震化促進計画													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	14地区公民館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	耐震診断の結果、現在の基準に満たない場合は耐震補強工事を行ない、建物の安全性の向上を図る。 災害時の安全な避難所となる												
(7) 事業概要	昭和56年(1981年)5月以前の建築基準法に基づいて設計された地区公民館20館のうち、岸一・南千里・吹二・千一・南吹田・山手を除く14館について耐震診断を実施し、基準に満たない場合は耐震補強工事を行なう。 H27 診断(岸二) 1, 357, 560 H27 診断(南山田) 1, 357, 560 H27 耐震工事(山三) 11, 469, 600													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	12	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,827	2,510	22,039	14,185	5,658							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30							
		総額(B)	千円	2,490	2,385	2,506	2,506							
	総事業費(A+B)		5,317	4,895	24,545	16,691	8,109							
	特定財源(C)		572	545	2,325	1,843	1,167							
	(内訳)	国	572	545	2,325	1,843	1,167							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		4,745	4,349	22,220	14,848	6,942							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		4,745	4,349	22,220	14,848	6,942								
財源計(C+D)		5,317	4,894	24,545	16,691	8,109								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	コンストラクションインベストメントマネー										
			②	(株)宣伸実業、藤井電気工業(株)										
			③											
	主な委託内容		①岸二・南山耐震診断 ②山三耐震工事											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 平成19年度(2007年度)からの耐震診断の実施総数	目標値	(単位:件)	14.00	14.00	14.00	
			実績値	(単位:件)	8.00	10.00		
			達成度(%)		57.1	71.4		
	目標値の積算方法	平成29年度(2017年度)までに、対象となる14館の耐震診断を実施する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		539.88	1,669.10	
				一般財源(単位:千円)		408.50	1,484.80	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 耐震診断の件数	目標値	(単位:件)	1.00	2.00	2.00
	実績値			(単位:件)	1.00	2.00		
	達成度(%)			100.0	100.0			
	目標値の積算方法	毎年1館以上、耐震診断を実施する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4,319.00	8,345.50	
				一般財源(単位:千円)		3,268.00	7,424.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		計画の策定当初は18館の耐震化を進める予定であったが、策定後2館の建替えが決定し対象も16館に減った。今後も建て替え予定の館が2館あり、計画の終期も平成33年度から平成31年度に早まっている。					

## 事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	地区公民館耐震化事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00944				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>80</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	まなびの支援課	事務事業番号	00944
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>本市の公民館は災害時に市民の安全を守る避難所の一つに指定されていることから、平成19年3月に策定された「市有建築物耐震化促進計画」において、耐震化の対象施設と位置付けられた。この計画では建築基準法上の旧耐震基準に基づいて建てられた公民館20館のうち、建替え済みの館(岸一・南千里・吹二)及び建替え予定等の館(千一・南吹田・山手)の6館を除く14館の耐震診断および耐震改修について平成19年度(2007年度)から平成31年度(2019年度)までの13年間で耐震化100%となるように年次的に進めていくものである。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	地区公民館改修事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	57	改正内容	吹田市公民館条例について、吹二地区公民館及び千一地区公民館の位置表示の変更											
(2) 直近の改正	25													
(3) 根拠法令等	社会教育法、吹田市公民館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	地区公民館28館(吹一分館、南千里を除く)											
	結果(どのような効果が得られるのか)	老朽化やバリアフリー化等に対応することにより、より利用のしやすい生涯学習活動の拠点となる。												
(7) 事業概要	地区公民館の老朽化に伴い、建設又は前回改修後の年数の長い館から順に大規模改修を行い、老朽化への対応、バリアフリー化等時代に即した内容に対応する。 H27 岸二 屋上防水及び外壁改修工事 10,864,800円													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	12	大事業	1	中事業	1	小事業	2
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,486	2,350	5,368	10,685	130,090							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.30	0.30	0.70						
		総額(B)	千円	1,660	1,590	2,506	2,506	5,719						
	総事業費(A+B)		4,146	3,940	7,874	13,191	135,809							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		4,146	3,939	7,874	13,191	135,809							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,146	3,939	7,874	13,191	135,809								
財源計(C+D)		4,146	3,939	7,874	13,191	135,809								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)コーシン (株)吉野建設										
			②											
			③											
	主な委託内容		岸二 屋上防水及び外壁改修工事											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 改修の件数	目標値	(単位:件)	1.00	1.00	6.00
			実績値	(単位:件)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
		目標値の積算方法 毎年1館、大規模改修工事を実施する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,941.00	13,191.00	
	一般財源(単位:千円)			3,941.00	13,191.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 改修の件数	目標値	(単位:件)	1.00	1.00	6.00
			実績値	(単位:件)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
		目標値の積算方法 毎年1館、大規模改修工事を実施する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,941.00	13,191.00	
	一般財源(単位:千円)			3,941.00	13,191.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地域の生涯学習の拠点として、地区公民館の担う役割は大きく、老朽化した施設への対応は市が責任を持って計画的に進めていく必要があると考える。				

## 事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	地区公民館改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00945				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

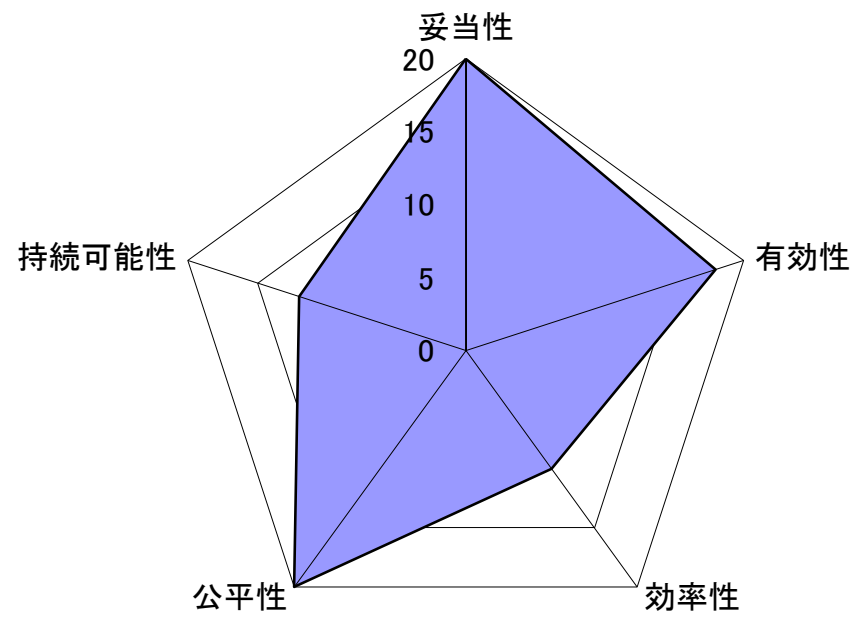
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>80</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		



所属名	まなびの支援課	事務事業番号	00945
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地区公民館は、開館または前回改修後の年数の経過した館から順番に改修を実施している。大規模改修では、老朽化への対応やバリアフリー対策をはじめ、時代の変遷に伴い必要となる設備の導入などを進めるとともに、公民館関係者や利用者の意見・要望をできるだけ反映した改修となるよう努めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	夢と希望を広げる出会い事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	第2次吹田市生涯学習推進計画、夢と希望を広げる出会い事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	10							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市内小・中学校の児童・生徒等を主とした吹田市民												
	目標(どういう状態にしたいのか)	吹田に縁(ゆかり)がある、様々な分野で活躍する方々と出会う場を設け、講演や実技指導をしていただく。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	吹田に縁(ゆかり)がある、様々な分野で活躍する方々の話を聞くことにより、夢や目標を持って努力することの素晴らしさを学び、将来の生き方を考える機会を提供する。												
(7) 事業概要	児童・生徒等が、吹田に縁(ゆかり)があり、優れたキャリアを有し、様々な分野で活躍する方々と出会う場を設け、講演や実技指導を通じて、夢や目標を持って努力することの大切さを学び、将来の生き方を考える機会を提供する。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	11	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		150	90	150	90	220							
	人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60						
		総額(B)	千円	4,980	4,769	5,012	5,012	4,902						
	総事業費(A+B)		5,130	4,859	5,162	5,102	5,122							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		5,130	4,858	5,162	5,102	5,122							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		5,130	4,858	5,162	5,102	5,122								
財源計(C+D)		5,130	4,858	5,162	5,102	5,122								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 夢と希望を広げる出会い事業の実施回数	目標値	(単位:回)	5.00	5.00	/
			実績値	(単位:回)	6.00	6.00	
			達成度(%)		120.0	120.0	
	目標値の積算方法 小・中学校の授業において3回、地域教育協議会の地域行事において2回実施することを目標とした場合の実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	809.83	850.33		
			一般財源(単位:千円)	809.83	850.33		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 夢と希望を広げる出会い事業の参加者数	目標値	(単位:人)	250.00	250.00	/
			実績値	(単位:人)	758.00	911.00	
			達成度(%)		303.2	364.4	
	目標値の積算方法 各回に50人参加した場合の参加者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6.41	5.60		
			一般財源(単位:千円)	6.41	5.60		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>児童・生徒等が、吹田に縁(ゆかり)があり、優れたキャリアを有し、様々な分野で活躍する方々と出会い、講演や実技指導を通じて、夢や目標を持って努力することの大切さを学ぶことにより、将来の生き方を考える機会となると考える。本事業は、子どもへの生涯学習の場として学習機会の提供をするものであり、事業内容についてのニーズを把握することが課題である。また本事業趣旨に賛同して講演をしてくださる講師を募るために、関係部局と連携していくことも重要である。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	生涯学習課	事業名	夢と希望を広げる出会い事業	事業区分	その他
事務事業番号	947				

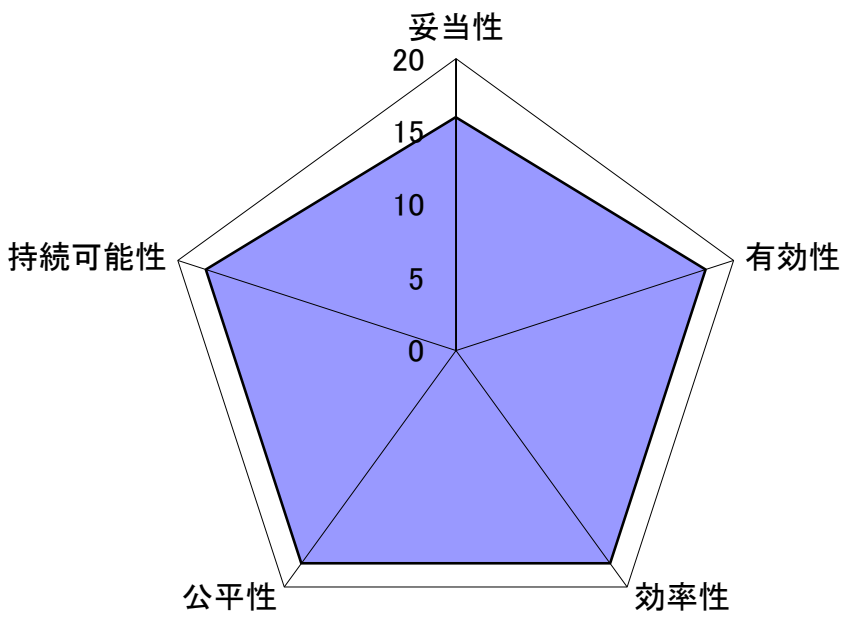
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	生涯学習課	事務事業番号	947
-----	-------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性について改善の余地がある。常に児童・生徒に対する学びの支援という事業主旨を踏まえ、事業内容についてのニーズを把握することが重要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大阪市において、元スポーツ選手を小学校に講師として派遣する事業があるが、本市の事業はスポーツ選手に限らず、大学教員や声楽家などさまざまなジャンルで活躍し、かつ吹田市にゆかりのある方の講演を子どもたちやその保護者などに届けている。

## 事務事業評価調書

事務事業名	南吹田地区公民館新築事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	H26	改正 内容	吹田市公民館条例について、千一地区公民館及び吹二地区公民館の位置表示の変更											
(2) 直近の改正	25													
(3) 根拠法令等	社会教育法 吹田市公民館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	南吹田地区公民館											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	狭あいや老朽化を解消するとともに、バリアフリー化に対応することにより、より利用しやすい生涯学習活動の拠点となる。												
(7) 事業概要	狭あいや老朽化した南吹田地区公民館を、移転建て替えを行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	12	大事業	1	中事業	1	小事業	3
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,764	1,512	12,374	10,567	122,253							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.50	0.50	0.40						
		総額(B)	千円	2,490	2,385	4,176	4,176	3,268						
	総事業費(A+B)		5,254	3,897	16,550	14,743	125,521							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		5,254	3,896	16,550	14,743	125,521							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		5,254	3,896	16,550	14,743	125,521								
財源計(C+D)		5,254	3,896	16,550	14,743	125,521								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)林設計事務所										
			②											
			③											
	主な委託内容		南吹田地区公民館建設工事設計業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 新築工事の件数	目標値	(単位:件)	1.00	1.00	/
			実績値	(単位:件)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 4ヶ年で新築工事を実施する	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,897.00	14,743.00		
			一般財源(単位:千円)	3,897.00	14,743.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 新築工事の件数	目標値	(単位:件)	1.00	1.00	/
			実績値	(単位:件)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 4ヶ年で新築工事を実施する	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,897.00	14,743.00		
			一般財源(単位:千円)	3,897.00	14,743.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地域の生涯学習の拠点として、地区公民館の担う役割は大きく、老朽化した施設への対応は市が責任をもって計画的に進めていく必要があると考える。				



## 事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	南吹田地区公民館新築事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00948				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	まなびの支援課	事務事業番号	00948
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays scores for five evaluation criteria. The vertical axis is labeled '妥当性' (Appropriateness) with a scale from 0 to 20. The other four axes are '有効性' (Effectiveness), '効率性' (Efficiency), '公平性' (Fairness), and '持続可能性' (Sustainability). The scores are: 妥当性: 20, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 10, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>南吹田地区公民館(昭和43年(1968年)9月供用開始、延床面積220㎡)は、延床面積330㎡に満たない狭隘な公民館である。地元からも建替えの強い要望があり、移転建替えを進める。平成28年度南吹田地区公民館建設工事(土木工事)実施予定。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	生涯学習施設整備事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成18年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	第2次吹田市生涯学習推進計画							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	10	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	生涯学習施設						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	既存の公共施設の整備状況を把握し、生涯学習施設整備について検討する。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民が生涯学習活動をしやすい環境を整える。							
(7)	事業概要	学習環境を向上させるため、既存の公共施設の整備状況を把握し、吹田市公共施設最適化計画との整合性も図りながら、市民が学習活動をしやすい環境を整えるため、検討する。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	既存の公共施設の整備状況を把握し、吹田市公共施設最適化計画との整合性も図りながら、市民が学習活動をしやすい環境を整えるための検討段階である。			目標	市内公共施設の活用や大学との連携、小・中学校の教室の活用等、費用対効果を考慮しながら、施設を整備する。
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学習環境を向上させるため、既存の公共施設の整備状況を把握し、吹田市公共施設最適化計画との整合性も図りながら、市民が学習活動をしやすい環境を整えるため、検討をしていく必要がある。なお、市内公共施設の活用や大学との連携による大学学舎の活用、小・中学校の教室の活用等を推進しており、費用対効果を考慮しながら、施設を整備する必要がある。				

## 事務事業分析シート

所属名	生涯学習課	事業名	生涯学習施設整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	1344				

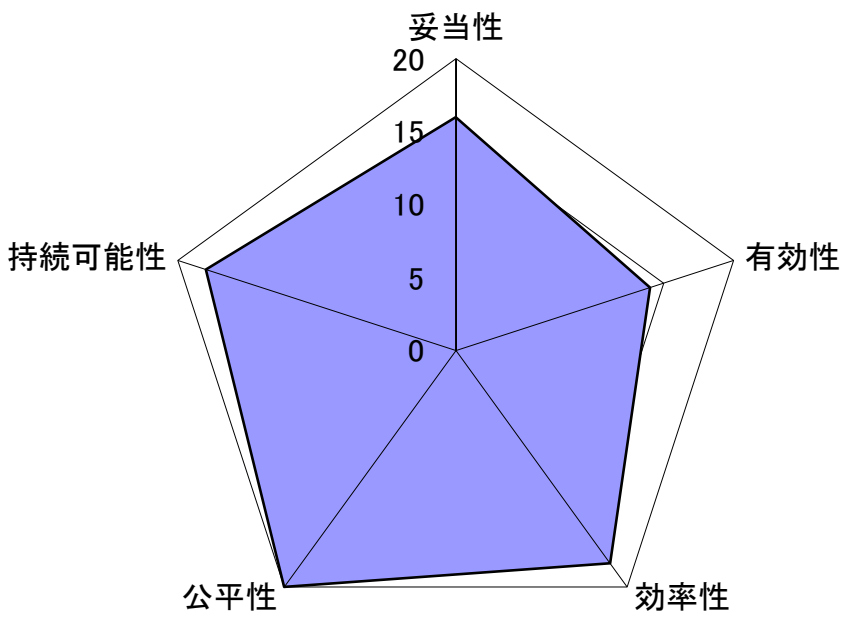
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>86</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	生涯学習課	事務事業番号	1344
-----	-------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>既存の公共施設の把握については、学習施設ガイド「ひろがれ」を発行し、市内公共施設の概要や利用料金等を一元的にまとめている。今後の生涯学習施設整備については、吹田市公共施設最適化計画との整合性も図りながら検討をしていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	山手地区公民館新築事業				
担当部名	地域教育部	室課名	まなびの支援課	室課長名	小西 正晃

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	25	改正 内容	吹田市公民館条例について、吹二地区公民館及び千一地区公民館の位置表示の変更					
(2) 直近の改正	25							
(3) 根拠法令等	社会教育法、吹田市公民館条例							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	2	細節	20	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	山手地区公民館					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	狭隘や老朽化を解消するとともに、バリアフリー等に対応することにより、より利用のしやすい生涯学習活動の拠点となる。						
(7) 事業概要	狭隘で老朽化した山手地区公民館について、鉄道建設・運輸施設整備支援機構が山手町1丁目内に所有している土地の一部を取得し、山手地区高齢者いこいの間と一体的な移転建替えを行う。							
(8) H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	19,432	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	19,432	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	19,432	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	19,432		
財源計(C+D)		0	0	0	0	19,432		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 用地取得の件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法 移転建替えに向けて用地を取得する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容 用地取得の件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法 移転建替えに向けて用地を取得する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		地域の生涯学習の拠点として、地区公民館の担う役割は大きく、狭隘かつ老朽化した施設への対応は市が責任を持って計画的に進めていく必要があると考える。					

## 事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	山手地区公民館新築事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01345				

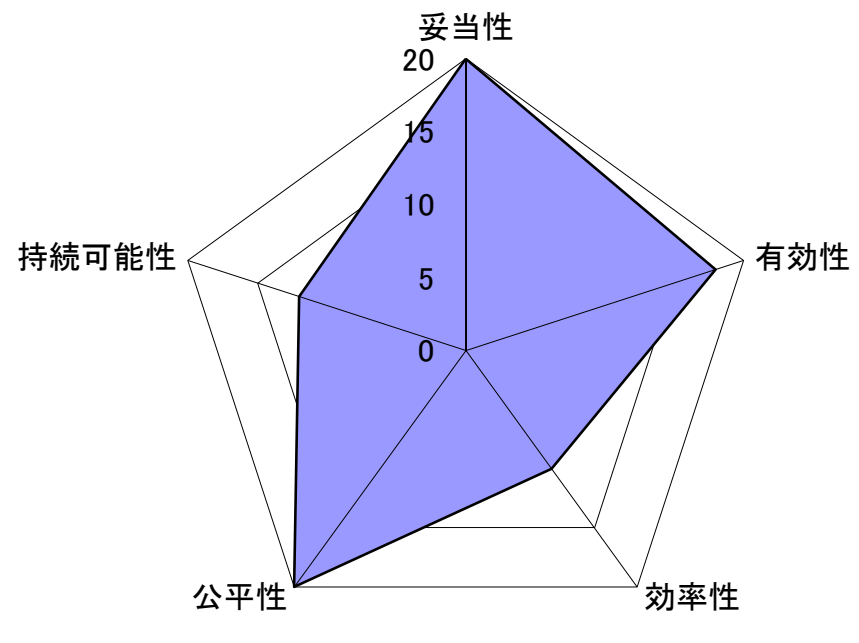
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>80</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	まなびの支援課	事務事業番号	01345
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>山手地区公民館(昭和43年1968年)4月供用開始、延床面積205㎡)は、延床面積330㎡に満たない狭隘な公民館である。地元からも建替えの強い要望があり、山手地区高齢者いこいの間と一体的な移転建替えを進める。 平成28年度山手地区公民館建設工事に伴う実施設計予定。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)